

はば たき

青少年育成さいたま市民会議
20周年記念誌



はば ば た き

青少年育成さいたま市民会議
20周年記念誌



青少年育成さいたま市民会議 設立二十周年を迎えて



青少年育成さいたま市民会議会長

久世晴雅

青少年育成さいたま市民会議が設立二十周年を迎えた事は各地区会、関係機関の皆様方の御尽力によるものと心から感謝申し上げます。

本会は平成十三年五月にさいたま市が誕生し、その翌年旧三市の地区会の御理解をいただき発足しました。さらに平成十七年に岩槻が加わり、現在に至っております。

青少年健全育成を推進する組織は六十余年前、当時の市民の積極的な参加、協力のもと、青少年のために行政と連携してスタートした経緯があります。

さて、近年の青少年は「気候変動」「新型コロナウイルス感染症」など、社会環境や生活様式の変化により、子どもたちも多くの体験をしている時代となりました。

また、いじめ問題については教育委員会と連携し、「いじめ防止のための五ヶ条」を制定し、いじめのないまちづくりのため活動しております。

『未来を担う青少年』の健全育成のために、今後とも皆様の御理解とより一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。



目次



会長あいさつ	2
青少年育成さいたま市民会議会長	
久世 晴雅	
目次	3
お祝いの言葉	4
さいたま市長	
清水 勇人	
さいたま市議会議長	
中島 隆一	
青少年育成埼玉県民会議会長・埼玉県知事	
大野 元裕	
さいたま市教育委員会教育長	
細田眞由美	
二十年のあゆみ	6
令和4年度組織図	7
地区会長一覧	8
主要事業	9
委員会の紹介	10
地区会の紹介	12
関係諸機関・団体の紹介	34
振り返り企画(善行青少年表彰受賞者インタビュー)	36
令和4年度の事業紹介	38
令和4年度広報委員会・編集後記	39

伸びよう 伸ばそう 青少年



さいたま市長

清水 勇人

青少年育成さいたま市民会議の設立二十周年、誠にありがとうございます。併せて記念誌を発刊されますことをお祝い申し上げます。

貴会がこの二十年間、日頃から防犯パトロールや巡回活動など、地域に根差した活動を通じて青少年の健全育成に御尽力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

また、地区会を中心に、それぞれの地区の特色を生かした事業の企画・運営や、区民まつり、コミュニティ・スクール、チャレンジUPさいたまなどの事業へ御協力いただいておりますことは、子どもたちの健やかな成長を支えると同時に、令和三年七月一日に制定した「さいたま市民憲章」を体現するものであり、大変嬉しく存じます。

近年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会情勢が急激に変化し、青少年を取り巻く環境は大きく変わりました。児童・生徒は「お互いの素顔はマスクの下」「給食は会話のない黙食」など、つながりが希薄な学校生活を余儀なくされました。そのような日々であっても、いつも通学路を巡回し、あいさつしてくれる地域の方々の存在は、青少年が心身ともに健やかに成長できる環境づくりにおいて大きな役割を果たしています。ウィズコロナ・アフターコロナの時代においても、貴会の活動はますます重要なものになると確信しております。

本市は今後も非行やいじめ、ヤングケアラーなどの課題解決に向けて取り組んでまいりますので、引き続き、未来を担う青少年を地域で見守り、地域で育てていくために御協力をお願い申し上げます。

結びに、青少年育成さいたま市民会議の御発展と皆様の御健勝、御活躍を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。



さいたま市議会議長

中島 隆一

青少年育成さいたま市民会議がこのたび設立二十周年を迎えられ、併せて記念誌を発刊されますことを、市議会を代表して、心からお喜び申し上げます。

貴会におかれましては、平成十四年の設立以来、市内六十七地区会及び青少年関係機関・団体等と協力し、青少年の非行や事故防止のための環境浄化活動や巡回活動など地域の実情に即した施策を通じて、青少年の健全育成に御尽力をいただき、その献身的な活動を通じて本市にも多大なる御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年の少子高齢化の進行や生活様式の変化、また、現下のコロナ禍など青少年を取り巻く環境は、ここ数年大きく変化しており、一人ひとりが充実した人生を送っていくために、人と人とのつながりのある温かな地域づくりを、市民と行政が一体となって進めていくことが大切であると感じております。

このような中、青少年が心身ともに健やかに成長し、自分のまちへの愛着心を育むことは、地域活性化の一助となり、地域社会発展につながるものになると確信しております。皆様方におかれましては、引き続き、学校・家庭・地域、それぞれの立場で互いに連携・協力し、未来の担い手となる子どもたちを優しく見守りくださいますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、青少年が健全に育成される地域社会の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様方の御支援・御協力をお願い申し上げます。

結びに、青少年育成さいたま市民会議のますますの御発展と、御関係の皆様様の御健勝での御活躍をお祈り申し上げます、お祝いの言葉いたします。



青少年育成埼玉県民会議会長
埼玉県知事 大野 元裕

このたび、青少年育成さいたま市民会議がめでたく設立二十周年を迎えられ、併せて記念誌が発刊されますことに心からお祝いを申し上げます。

青少年育成さいたま市民会議の皆様におかれましては、日頃からあいさつ運動や非行防止パトロールなど、青少年を見守る活動に多大なる御尽力をいただいていることに深く敬意を表します。また、青少年育成埼玉県民会議の活動にも御協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、家族が家庭内で過ごす時間が長くなったことは、お互いを見つめ直し、その絆を深める機会になりました。

他方で、青少年の生活習慣の乱れ、ネットやゲームへの依存、SNSを通じた犯罪被害、児童虐待の増加・深刻化などの問題が顕在化しています。

これらの青少年をめぐる多様で複合的な問題の解決には、これまで以上に、家庭、地域、学校が一体となり、社会全体で青少年を見守り、育てていく取組が必要です。

県では令和四年度から、新たな五か年計画がスタートしました。この計画では、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会である「日本一暮らしやすい埼玉」を目指しています。

「青少年に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会」を実現するためには、行政だけではなく、市民会議の皆様を中心とした地域の力や熱意が不可欠です。

未来を担う青少年が夢や希望を持てるよう、引き続き、御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、青少年育成さいたま市民会議のますますの御発展と貴会の皆様の御健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



さいたま市教育委員会
教育長 細田 眞由美

このたび、青少年育成さいたま市民会議が設立二十周年を迎えられ、併せて記念誌を発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

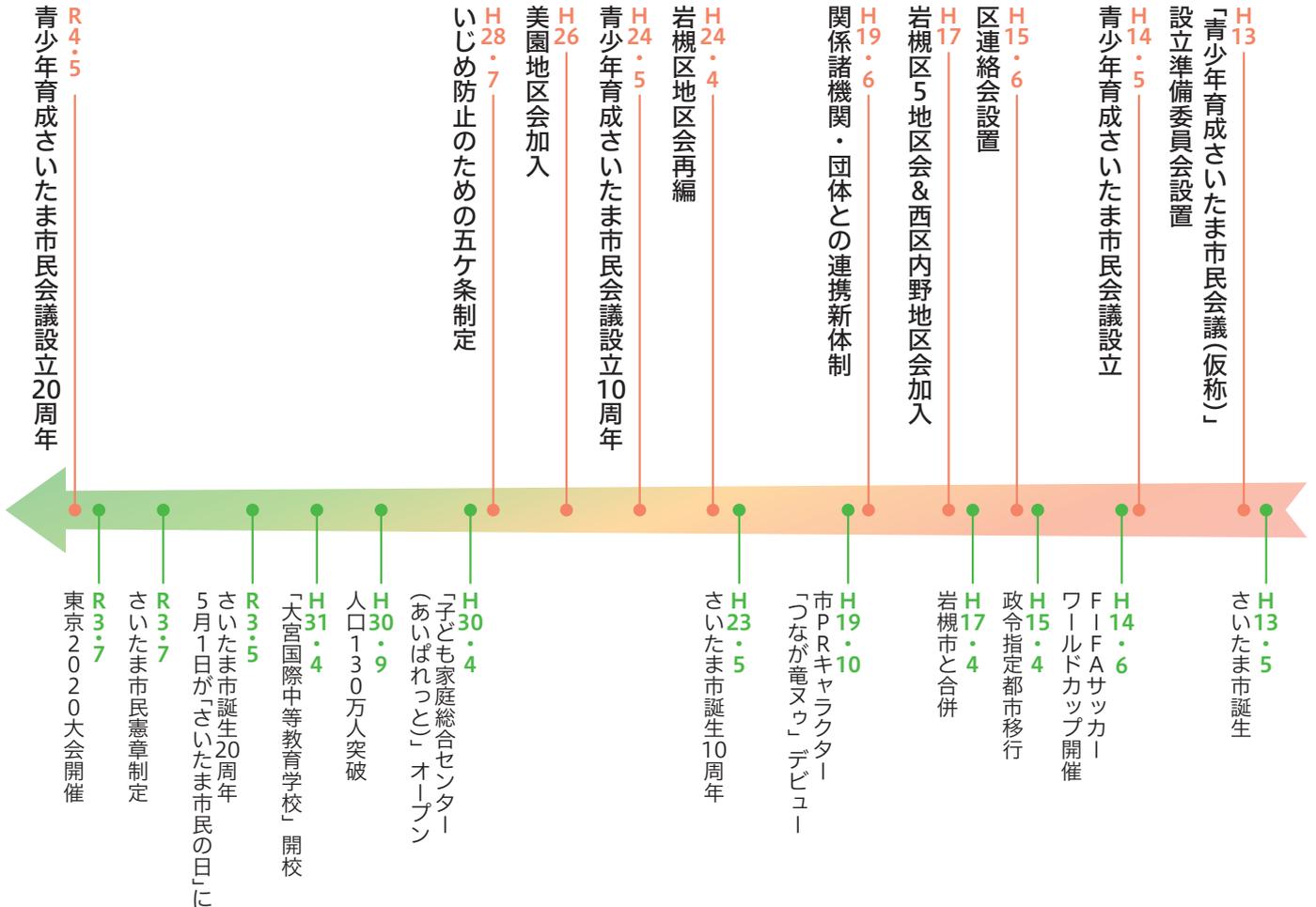
貴会は、設立以来、長きにわたり学校やPTAと協働して非行防止や巡回パトロールに取り組むなど、子どもたちの健やかな成長を見守ってくださいました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大やそれに伴うデジタル化の促進など、社会はかつて私たちが経験したことのない速度で劇的に変化しています。教育委員会では、「ICTを活用した学び」と「データの活用」の二つのエンジンで「さいたま市GIGAスクール構想」を推進するなど、デジタル化された教育環境を最大限活用し、子どもたちが変化する時代の中で求められる資質や能力を確実に育成していくため、教育DX(デジタル・トランスフォーメーション)を実現してまいります。

また、令和四年度から全ての市立学校がコミュニティ・スクールに移行しました。学校と地域がいつまでも元気であり続ける未来に向けて、学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有し連携・協働することで、人と人、人と地域の結び付きを深め、社会全体の教育力の向上を具現化できる、スクール・コミュニティの構築を図ってまいります。今後とも地域の皆様方の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、青少年育成さいたま市民会議のますますの御発展と関係する皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

青少年育成さいたま市民会議



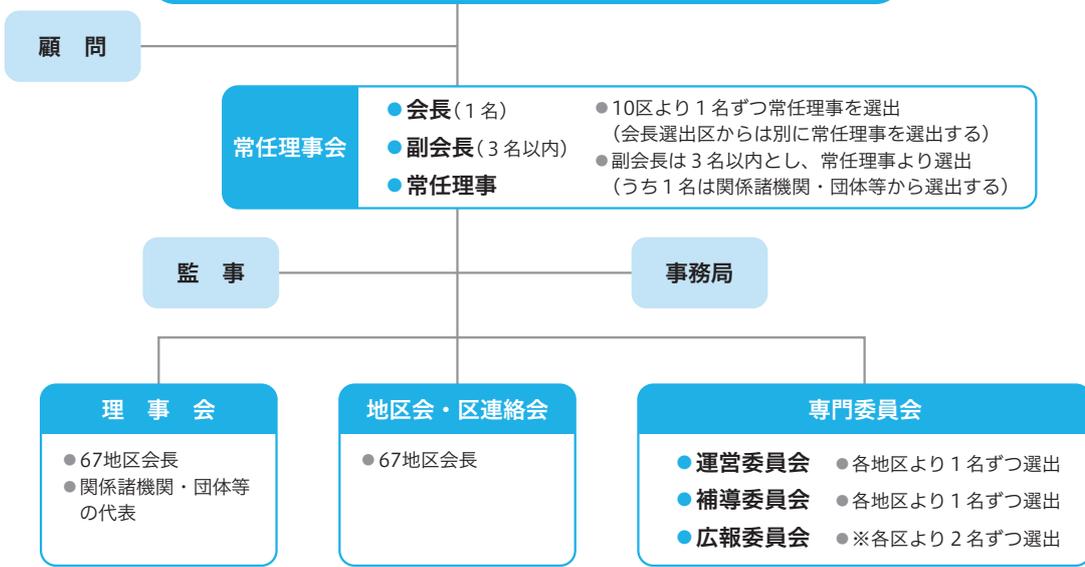
さいたま市

歴代会長・副会長一覧

年度	会長	副会長
H14	帆足 興之 仲町小	土橋 常治 与野西
H15	帆足 興之 仲町小	土橋 常治 与野西
H16	土橋 常治 与野西	武藤 哲夫 北浦和
H17	土橋 常治 与野西	武藤 哲夫 北浦和
H18	土橋 常治 与野西	武藤 哲夫 北浦和
H19	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H20	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H21	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H22	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H23	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H24	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H25	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H26	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H27	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H28	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H29	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
H30	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
R1	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
R2	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
R3	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)
R4	久世 晴雅 中部	大沢 立承 南部(岩槻区)

※ポリスカウト...さいたま市ポリスカウト協議会
大宮ボランティア...大宮警察署少年非行防止ボランティア連絡会

青少年育成さいたま市民会議 組織図(運営上)



青少年育成さいたま市民会議 組織図(構成上)



地区会長一覽

役職

- …市民會議會長
- …市民會議副會長
- …市民會議常任理事

※令和四年四月現在

見沼区				大宮区						北区				西区			区連絡会		
19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	会No.
片柳	七里	春岡	大砂土東	大成	三橋	桜木	氷川	大宮東	中部	大宮南	日進	大砂土	宮原	植竹	内野	植水	馬宮	指扇	会名
黒白 秀之	●鶴谷 千法	岩田 哲也	鶴沢 勇	小野 安史	新藤 信夫	西山 幸代	立入 健司	佐伯加寿美	◎久世 晴雅	●橋本 正晴	森田 敏男	鈴木 健司	宮島 和宣	●蝦名るみ子	小嶋 順子	相川 和子	青木 一郎	●江口 三郎	会長名

南区			浦和区											桜区					中央区				区連絡会	
43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	会No.
大谷場小	南浦和	谷田	大東	岸町小	木崎	上木崎	常盤	仲町小	浦和高砂	本太小	仲本	針ヶ谷小	北浦和	中島	新開	田島	栄和	土合	大久保	与野東	八王子中学校	与野南	与野西	会名
磯 正	鈴木 一郎	柴田 菊子	山崎 徳平	篠崎 繁雄	池ノ内 登	渋谷 和男	志水 正	今尾 武	●青山 恭之	永嶋 充浩	内田 勝也	細田 秀作	小宮 秀昭	田辺 雄一	大貫 充	深井 利恵	向山 幸雄	向井 義博	●土橋 勇司	内田誠之郎	●寺井 正直	町田 守正	岩崎 道行	会長名

岩槻区						緑区						南区						区連絡会						
67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	会No.
東岩槻	河合	慈恩寺	川通	新和	和土	柏崎	岩槻	美園	道祖土	大門	野田	原山	尾間木	三室	善前	浦和大里小	文蔵	大谷口	沼影小	辻	大谷場東	別所小	西浦和	会名
平田あつし	杉山 和男	●田中 岑夫	小島 和男	若谷 富雄	佐藤 行雄	田中 泰之	田口 正信	林 伸一	○石川 義久	城処 良幸	萩原 真美	田口 邦雄	森 博和	島根 和久	林 則行	●萩原 章弘	瀧澤 昭治	野口 保仁	西井 正憲	池田 雅俊	会田 耕吉	小池 誠一	加藤 武喜	会長名



青少年の主張大会



定期総会

- 社会を明るくする運動・青少年非行根絶キャンペーン協力
- 青少年育成巡回活動
(浦和まつり、大宮夏まつり、岩槻まつり、十日市、十二日まちなど)
- レッツ・ジョイン！クリーン活動
(西区・北区・大宮区・見沼区)
- 大宮駅周辺環境浄化パトロール
- 専門委員会(運営・補導・広報)
- 青少年育成推進大会

その他実施事業



青少年健全育成研修会

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
広報紙「はばたき」発行	青少年育成推進大会	表彰選考委員会	第3回常任理事会	青少年健全育成非行防止キャンペーン	第2回理事会	第2回常任理事会 広報紙「はばたき」発行	夏季青少年育成巡回活動	青少年健全育成研修会	定期総会・講演会	第1回理事会	第1回常任理事会

通年スケジュール

広報委員会

広報委員会では、広報誌「はばたき」の制作および発行を主体として行っています。

これまで、三十四号までの発行をしておりませんが、今年度は二十周年記念誌を発行しております。

また、今回は紙面としてのみでなく、電子での発行も行います。電子化は、より多くの方々に広報誌を見ていただくことで、市民会議そして地区会の活動状況に触れていただく、良い機会と考えております。プライバシーの問題など課題もありますが、積極的に進められればと考えます。

委員会については、現在の情勢から、書面での開催が主体となっておりますが、委員の方々が、都合の良い時間で原稿を確認できる等、メリットもあるかと考えます。

運営の形態も、気づきをいただき、見直しながらより良い委員会を目指していければと思います。



はばたき第34号及び初号



20周年記念誌の仕様検討

運営委員会

運営委員会は各地区の実務担当者として市民会議が主催する「定期総会」「青少年の主張大会」「青少年育成推進大会」といった大きな行事の受付や案内等の役割を担って参りました。

また、さいたま市誕生を機に市域も広がり市域ごとの特色も様々であることから、各地区会の行事や運営の在り方についても意見を交わし、年二回の委員会会議を通じて地区会同士の横のつながりも深めて参りました。

結果として、年度毎に発行される地区会活動報告にも見られるように、他地区会の活動の様子を知り相互理解を深め、自地区会の事業改善につながるなど事業の活性化にも表れているものと思います。

令和の御代となってコロナという災禍による社会の分断もあり、コミュニケーションの基本である対面すること、集まることが難しい局面も増えてきました。

しかし時節が変わっても青少年を育み見守ることの、地域としての役割は何ら変わることはありません。私たち運営委員も皆さまと共に地域に根差した活動や地区会同士が連携した活動ができるようにつながりを広げて参りたいと考えております。どうか次代も変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。



地区会間での意見交換



定期総会 受付

補導 委員会

補導委員会はさいたま市内六十七地区会から委員が推薦され、六十七名で活動をしています。その他、補導委員は埼玉県から二年単位で委嘱される「青少年育成推進委員」を兼任しており、県主催の青少年健全育成事業にも協力しています。

主な事業に「青少年健全育成研修会」の運営や青少年非行防止に向けた巡回活動などがあります。巡回活動は委員会で作成した『青少年育成巡回活動の手引き(Q&A)』を活用し、補導委員が地域を中心となって実施しています。活動内容は年三回開催される委員会において情報交換しています。

大宮駅周辺環境浄化パトロールは「青少年が健やかに成長できる環境づくり」を目的に、大宮警察署の協力を得て「青少年を非行から守る日」である毎月第三金曜日に年七回実施しています。



巡回活動(土合地区会)



青少年健全育成研修会 受付

さいたま市の 関連施策

「未来くるワーク体験」「自分発見!」チャレンジUpさいたま」「土曜チャレンジスクール」「放課後チャレンジスクール」などに加え、令和四年度から「コミュニティ・スクール」が全ての市立学校で実施されています。
学校、家庭、地域が連携・協働して、青少年の健全育成に取り組んでいます。



夜間巡回活動(沼影小地区会)



大宮駅周辺環境浄化パトロール

また、大宮まつり・浦和まつり・十日市・十二日まち等の祭事における巡回など、地域に密着した活動を実施しています。
改めて青少年の健全な育成を願い、「地域の子どもは地域で守り育てる」ため、いじめ防止のための五ヶ条を合言葉に、今後とも活動がますます盛んとなるよう補導委員一同で努めていく所存です。

さしおうぎ

指扇地区会

西区



デイキャンプ参加者全員集合



「野外炊さん」
全員でカレーを食べる

指扇地区は子ども会や中高生子ども会リーダーの活動が活発かつ充実した地域であることから育成会との連携体制も確立しています。球技大会やかるた大会などの共催事業も複数回行われています。

郷土愛を育む活動としては、地域の史跡や市指定文化財を巡る「指扇を歩く」を実施し公民館と共催して二十年近く続いています。

指扇地区は市の北西部に位置し、森や畑が随所に残る自然環境に恵まれた所です。地区の人口は五万人に近い大所帯で活動区域の広いことが特徴です。そのため地区内の児童、生徒は五か所の小学校、三か所の中学校に分散登校しています。

地区活動は地域環境に恵まれている事から体験型の野外活動に重点を置いています。国立那須甲子少年の家を利用した本格的なキャンプから、地域の神社の境内を利用したテント泊、低学年を対象としたデイキャンプなどの事業は、三十年以上も続いています。

まみや

馬宮地区会

西区



世代間交流グラウンドゴルフ大会



ふれあいコンサート

馬宮地区会は、地区内の小学校三校、中学校二校の児童・生徒を対象に、各校のPTA・自治会連合会・体育振興会・老人クラブ協議会・社会福祉協議会・公民館等地域関係団体の全面的協力を得て、市民会議西区連絡会との連携を密にし、諸事業を実施しております。

例年継続して実施している主な事業は、

- 一、高齢者と児童を対象とした世代間交流グラウンドゴルフ大会
- 二、小学校・中学校合同ふれあいコンサート
- 三、西区中学生スポーツ大会

これらの事業は、地域子どもたちが、ふれあい、交流し、親睦を図るとともに日頃の練習や勉強の成果を発表することにより、成長への糧の一こまを目的とするものであります。

新型コロナウイルスの影響で、二年間活動自粛を余儀なくされてきました。今後は、感染対策を十分に行い、地域関係団体の支援を仰ぎ、更なる実効ある育成活動の推進に努めて参ります。

指扇地区は子ども会や中高生子ども会リーダーの活動が活発かつ充実した地域であることから育成会との連携体制も確立しています。球技大会やかるた大会などの共催事業も複数回行われています。

うえみず

植水地区会

西区



社会を明るくする運動



下校見守り

当会は、(1)理事会と総会、(2)社会を明るくする運動「植水地区集会」、(3)青少年育成標語表彰、(4)三世交代体験活動、(5)植水青少年子どもまつりの五つを主な事業として取り組んでおります。

令和四年度の各事業(十月現在)は次のとおりです。(1)は随時日に実施。(2)では、警察や学校長から近況報告をいただき、中高生にはかなえない夢・希望について作品を募集し、今年度は十一名の応募がありました。しっかりと考えた考えを持っているので驚きました。現在は作品集作成に取り組んでいます。(3)では、優秀作品二十二点を標語ピラに印刷し、学校・自治会の掲示板やその他要所に掲示します。下校見守りや巡回活動では、子どもたちの思わぬ触れ合いもあります。(4)はコロナ禍で中止していましたが、八月に計画も台風のため中止し、十一月に再度予定しています。(5)は二月に只今検討中です。

当会の事業は、自治会連合会・地域の諸団体の力添えなしでは取り组めません。この場を借りて感謝申し上げます。

馬宮地区会は、地区内の小学校三校、中学校二校の児童・生徒を対象に、各校のPTA・自治会連合会・体育振興会・老人クラブ協議会・社会福祉協議会・公民館等地域関係団体の全面的協力を得て、市民会議西区連絡会との連携を密にし、諸事業を実施しております。

例年継続して実施している主な事業は、

- 一、高齢者と児童を対象とした世代間交流グラウンドゴルフ大会
- 二、小学校・中学校合同ふれあいコンサート
- 三、西区中学生スポーツ大会

これらの事業は、地域子どもたちが、ふれあい、交流し、親睦を図るとともに日頃の練習や勉強の成果を発表することにより、成長への糧の一こまを目的とするものであります。

新型コロナウイルスの影響で、二年間活動自粛を余儀なくされてきました。今後は、感染対策を十分に行い、地域関係団体の支援を仰ぎ、更なる実効ある育成活動の推進に努めて参ります。

うちの 内野地区会

西区

内野地区会は、大宮西小学校・宮前小学校・大宮西中学校・宮前中学校・ひまわり学園を学区とする地域です。内野公民館が八年前に開設され、公民館を中心に活動しています。

本会の活動は、

① 日常活動として、地域のパトロール(犯罪の抑止力・危険個所の発見等)・子どもたちへの声掛けを実施。

② 公民館と共催で親子、正月しめ縄飾り体験活動の開催。

③ 各種団体と連携しソフトボール大会などを開催。また、情報の共有を図る。

④ 各小・中学校のチャレンジスクールのスタッフ・講師として協力する。

以上の活動を十四名のメンバーで仲良く楽しみながら活動しています。



地域のパトロール



正月しめ縄飾り体験

うえたけ 植竹地区会

北区

当地区会の会計帳簿には昭和三十年代からの記載があり歴史を物語っています。自治会、PTAと連携して地域の子どもたちの明るい健やかな成長を見守っています。

● 三本の柱

☆植竹GOGOキャンプ 次回の開催で三十九回目を迎えます。一泊二日大自然の中で過ごすキャンプは大人気で申し込みが殺到します。

☆植竹地区子ども音楽祭

各小中学校、児童センター、地域の子ども合唱団の発表の場を設けています。回を重ねる毎に来場者も増え大ホールでの開催になりました。自治会の方々の多大な応援をいただき地域に根ざした活動になっています。

☆教育講演会 小中学校の校長先生に持ち回りで出前講演をお願いしています。

学校での子どもたちの様子を知る機会でもあり校長先生のお人柄にも触れより一層学校と地域のきずなが深まります。三本の柱の活動を軸に地域と一体となってこれからも地区会の責務を果たしてゆきます。



植竹地区子ども音楽祭



植竹GOGOキャンプ

みやはら 宮原地区会

北区

当地区会は、宮原中学校、宮原小学校、大宮別所小学校、つばさ小学校を学区とする地域にございます。

四校および地域の諸団体と連携を密にとり、子どもたちが活動できる場となる様々な事業を開催しております。

ここで、特徴的な事業を紹介いたします。子どもたちの音楽の発表の場、そして聴くことによる癒しの場を目指し、年に二回のコンサートを開催しています。

十二月に「クリスマスコンサート」、三月に「スプリングコンサート」が宮原コミュニティセンターを会場にし、地域の方々の応援を多くいただきながら、盛大に行われています。

・「子ども商店」は、子どもたちが、実際に商品を仕入れ、飾りつけをしたお店を出す事で、お金を得ることの大きさを学びます。

これからも、地域と連携しながら、子どもたちの笑顔のために活動したいと思えます。



「子ども商店」お店の様子



「子ども商店」完売しました～

おおさと 大砂土地区会

北区



夏休み小学生バスツアー



泰平小まつり

当地区会は、大砂土小学校、泰平小学校、土呂中学校、泰平中学校、植竹中学校を学区とする地域で、PTA、民生児童委員、自治会などと連携し合い活動を行っています。

夏休みに入ると、小学生バスツアーを開催しており、多い時には観光バス二台で工場見学、博物館見学などを行っています。秋には、大砂土小学校、泰平小学校で開催されるまつりに参加し、昔遊び、バルーンアートを行い、行事を盛り上げています。その他にも、大砂土公民館と共催で行われる、夏休み子ども巡回映画会や、三世交代流フェスティバルには、多くの皆さんに來場してもらえよう、企画を行っています。これからも、地域子どもたちの健全育成のために、新しい催しを取り入れるなどチャレンジしていきたいと考えています。

にしん 日進地区会

北区



皆さん、こんにちは。
日進中学校です。



万華鏡、できたよ！

当地区会は、地区内小中学校のPTA役員を中心に平成十四年に結成されました。その当時は、地域の団体の協力が得られないこともありましたが、現在では、様々な機関・団体としっかり連携ができています。

近年、地域の活動に参加する子どもたちが減少していることから、当会では、特に学校との連携事業に力を入れています。学校との連携事業は、多様な体験の機会を提供するとともに、子どもたちのコミュニケーション意識を高めるために役立つと感じているからです。

上の写真は、中学生が北区民まつりに参加し、エコステーションの運営や青少年健全育成の啓発をしたことをステージ上で報告しているものです。

また、下の写真は、小学校のチャレンジスクールで万華鏡を作ったときのものです。このように、子どもたちと地域との接点が増え、将来、地域の担い手となる人材が育つことを期待してやみません。

おおみやみなみ 大宮南地区会

大宮区



-卓球部-



-野球部-

私達の地区会は、大宮南小学校と大宮南中学校を対象とした比較的小規模地域です。そのため両校と地域諸団体と連携して事業を開催できる環境にあります。当会の柱となる二つの事業を紹介します。

「新春ふれあいコンサート」は平成十五年から始まり今年度二十回目を迎えます。地域大宮高等学校を加えた三校合同演奏は圧巻で新春恒例の地域行事となりました。

「スポーツ・文化交流教室」は平成十六年に始まり、通称「部活体験」と呼ばれ、小学校五・六年生が大宮南中学校で実際に部活動を体験します。毎年百名を超える児童が希望する部活動に参加しています。

また、大宮南小学校チャレンジスクールの運営参加、大宮南地区防犯連絡会・社会福祉協議会への協力を行っています。

コロナ禍で活動の縮小や中止が見られましたが、これまで以上に学校・地域と連携し活動を続けて参りたいと思います。

大宮南中学校部活動体験



レッツ・ジョイン！クリーン活動

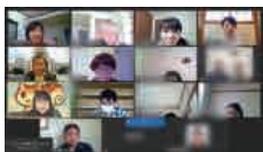


標語募集看板

中部地区は大宮駅東口、県内最大の娯楽、飲食施設を抱える南銀座を控え、駅前には商都大宮の玄関口、大型百貨店、商店、銀行、カラオケ、パチンコ店等々林立する商業地、市民会館等の行政施設等々、行政・文化・商業等の中枢機能が集中しています。受け持ち地区は東の方は見沼田んぼまで、大宮小学校、芝川小学校、大宮東中学校、第二東中学校の四校です。主な事業は「青少年健全育成標語募集」です。二年に一度、全校（四校）の児童・生徒より募集し、優秀作品を表彰及び立看板を作成し、各校の校門付近に掲出しています。

次に「レッツ・ジョイン！クリーン活動」は中学校の部活を午前中は休部し、生徒会を中心に各学校から大宮駅までクリーン活動をしています。運営はすべて生徒たちが行い、私たちは、そのゴミを収集しています。もう一つの事業は「四校音楽のつどい」で、地区内四校の吹奏楽部の演奏会を行い、地区内の方々に楽しんでいただいております。

その他、各学校を中心に「自分たちの地域は自分たちの手で」をモットーに、パトロール等、地域の方々の協力のもと、日々活動しております。



初のオンライン講座に挑戦



ポッチャ体験

当地区会は、大宮駅東口から氷川神社の東側、住宅街と幹線道路、公園に囲まれた地域です。常任理事を十一地区の自治会長、顧問に学校長・公民館長・社会福祉協議会会長にお願いし、三校の学校のPTAと地域から副会長を、大宮東小学校から幹事、補導委員を選出いただいております。

年間の事業は総会から始まり、地域ふれあい大会、芋ほり大会、クリーン活動、年末お楽しみ会などを開催していましたが、このコロナ禍で中止が相次ぎました。しかし何か事業ができないかとカタチを変え、毎年工夫して展開しています。

令和二年度は三月にオンラインにチャレンジ、講師をお呼びして「親子防災オンライン講座」を、令和四年度は七月に静寂の競技であるポッチャを取り上げ、体験会を開催しました。二月には「地域安全点検」と称し、大宮交通安全協会東支部と共催で、通学路を親子で歩いて点検し、行政と連携して改善につなげていく事業を追加で企画しています。

今後も子どもたちが健やかに楽しく過ごせるよう、活動してまいります。



「町をきれいに」ポスター

当地区会は、大宮北公民館地区にあり、氷川神社に隣接し、大宮北小学校と大宮北中学校が活動の対象となっております。

小学校には「ダディーズクラブ」、中学校には「北中もっともっと盛り上げ隊」という父親を中心として活動する団体があり、当地区会と協力して、青少年と地域の皆さんとの交流を深め、育成活動に励んでいるところですが、この度のコロナ禍で小学生が集う活動を自粛してまいりました。その中で小学生からポスターを、中学生から標語を募集し、ほぼ全生徒の皆さんから応募いただきました。

また、非行防止及び防犯声掛けパトロールは幾度か自粛を挟みながらも、ボランティアの方々の協力で継続させていただいております。

文末になりましたが、青少年育成さいたま市民会議設立二十周年を、心よりお祝い申し上げますと共に、育成活動の益々の御発展を祈念いたします。

さくらぎ

桜木地区会

大宮区

当地区会は、桜木中学校区の児童生徒を対象に、例年、おもしろサイエンス（理科実験）、相撲大会、生け花、ちぎり絵等の体験事業やクリーン活動、青少年健全標語事業を実施しています。しかし、長引くコロナ禍で令和二年・三年は様々な事業を中止せざるをえない状況となりました。

今年度は、七月に市立大宮北高生を講師に「おもしろサイエンス」、八月に桜木・上小学校パパ会を中心に「親子夕涼み会」を開催することができました。「親子夕涼み会」では、パパ会が意欲的に取り組んだお化け屋敷が大好評。ゲームコーナーでは、小学生を相手に桜木中学校の生徒が大活躍。地域のスポーツ団体や桜木消防団にも御協力をいただき、久しぶりに笑顔いっぱいの子どもたちの姿にいい思い出作りができたのではないかと感じているところです。今後はこのような機会が増えることを心より願っています。



ゲームコーナー



消防体験

みはし

三橋地区会

大宮区

近年、新型コロナウイルス感染症拡大によって当地区会で実施してきた県外研修などの学習活動が中止を余儀なくされましたが、今年度は身近な場所で自然に触れ合えるレクリエーションの提案がありました。時を合わせて大宮西ロータリークラブから秋葉の森公園で埼玉県生態系保護協会の会員を指導者とし里山保全活動計画があることがわかり、協同して計画立案を進め、市及び市教育委員会の後援のもと、「森を守ろう、自然を楽しもう」の名称で共催しました。開催日（十月八日）当日は、三百名を超え



「森を守ろう、自然を楽しもう」集合写真



竹の伐採

る参加者があり、三橋地区会からは九十八名の小中学生と役員が参加しました。里山の中で竹の伐採、丈の高い草刈り、片付け作業を行いました。その後、ロータリークラブが用意したキッチンカーによる昼食の提供に子どもたちは大喜びでした。中学生からは「SDGsの理解が深まった」「里山に人の手を加える必要性を学んだ」などの意見がありました。ロータリークラブからも「動植物保全の意義を多くの人に理解してもらえた」等の評価がありました。今後、他団体との協力による有意義な活動の一助となるよう研究してまいります。

おおなり

大成地区会

大宮区

当地区会は、大成小・中学校の学区が同じで、保護者、祖父母も同じ学校の卒業生も多く、地域のつながりも深く、穏やかな住みやすい地域です。コロナ禍の影響により、各自治会行事が中止になっていましたが、三年ぶりに規模を縮小して開催され、夏祭り、水かけ祭り、運動会、文化祭等のイベントが実施され、多くの子どもたちの元気な声が響き渡っていました。

地域防犯パトロールは、毎月第三金曜日、自治会、小・中PTA推進委員により実施しています。参加者からの声は、夏は暑く、冬は厳しい寒さの中、毎回巡回コースを変えて、皆さんと会話を楽しみながら参加していますとの感想をいただいています。

今後も地域の皆様、各種団体等の御協力をいただきながら、青少年の健全育成の推進並びに安心して暮らせる地域を目指してまいります。



防犯パトロール

おおさとひがし
大砂土東地区会

見沼区

当地区会は、大砂土中学校、大砂土東小学校、島小学校、見沼小学校を活動区域とする、市内でも非常に子どもの多い地区会です。

事業内容は、各学校や公民館のイベント、自治会のお祭りなどを含む協賛事業、レッツ・ジョイン！クリーン活動、草刈りなどです。中でも、公民館で行われるウォークラリーは十数年続く人気事業です。各学校の子どもたちと家族が毎年六十組以上参加し、普段とは違ったコミュニケーションを楽しんでいます。

地区会パトロールは、毎月第三金曜日に、自治会、商店会、PTA、各学校の先生方とともに、総勢約五十人で実施し、子どもたちの安全を見守っております。

みんな仲良く、連携の取れた非常に温かい地域です。



公民館ウォークラリー



大砂土東小学校まつのご祭り

はるおか
春岡地区会

見沼区

当地区会は、地区内の自治会・PTA・学校・社会福祉協議会・その他諸団体と協力し、地域一丸となって青少年の健全育成のために活動を行っております。

主な活動としては、地域で子どもたちを見守る「夜間パトロール・夏休みパトロール」、地域と世代間の交流を目的とした「世代間ふれあいグラウンド・ゴルフ大会」、落語を通して、楽しくユーモアを交え、笑いを誘う話を聞きつつも地域でいじめについて考える人権講演会「春岡寄席」を行っております。また、その他共催活動として、地域を知り郷土愛を育む「ウォークラリー大会」、地域のお祭り「春岡ふれあいフェスティバル」等に参加・協力しております。

今後も、これらの活動を軸に、地域の諸団体の皆様とともに協力しながら青少年の健全育成に努めてまいります。



世代間ふれあいグラウンド・ゴルフ大会



人権講演会「春岡寄席」

ななさと
七里地区会

見沼区

当地区会は「青少年の健全育成」を目指して、年間行事計画に基づき、各自治会から選出された支部長、推進委員が中心となり、自治会、諸団体の協力を得て活動しています。

主な活動として、「夏休み夜間パトロール」は、地区内の小学校四校、中学校二校の通学路をPTAの先導で民児協、大宮東警察署等諸団体の参加を得て実施しています。

「ななさと親子フェスティバル」は、当地区会、自治会連合会、社会福祉協議会が共同で主催し、諸団体の共催を得てゲームや模擬店の出店等子どもからお年寄りまで楽しめるように工夫しながら盛大に実施しています。

「青少年わくわくフェア」は、公民館を一日貸し切り「昔遊び」と称して竹馬、けん玉、羽根つき、牛乳パックでの竹とんぼ作り等、子どもと家族が一緒に楽しめる様に支部長が中心となり自治会等の協力を得て実施しています。



夏休み夜間パトロール



ななさと親子フェスティバル

かたやなぎ

片柳地区会

見沼区

私たち片柳地区会では、地域団体、地域住民や学校関係の皆さんと地域ぐるみで、片柳地域の青少年健全育成のため活動を行っています。地域全体で子どもたちを守るため片柳地区自治会連合会、地域団体と学校、PTAを繋ぎ地域のコミュニティの場を広げています。

近年は、育成会活動において地域団体や学校、PTA、そして子どもたちが各活動に対して積極的に参加協力頂き、どの活動も笑顔や笑い声が絶えない活動が行えています。その中でも育成会の一番のイベントとして毎年十一月に行われる「ふるさと発見子どもまつり」を開催しております。このおまつりは、片柳地域の方々子どもたちが、昔ながらの遊びを楽しみながら体験し世代間交流の場として多くの方の参加があり、片柳地区全体のおまつりとなっています。

このように地域全体で子どもたちの見守り活動を継続していき、片柳地区の青少年健全育成に努めてまいります。



「ふるさと発見子どもまつり」
年々参加者も増え
地域全体のおまつりになりました



「学校・関係団体懇談会」
会議室に入りきれないほどの方
にお集まり頂いての懇談会

校区環境美化活動



(ゴミ回収)



(除草作業)

当地区会の活動方針は、青少年の社会奉仕活動への参加を促進すること。青少年の健全育成のための社会環境づくりを推進すること。地域の青少年に目を向ける運動を促進することという三つの柱を軸に、各自治会・小中学校およびPTA・子ども会等の協力を得て活動しています。

主な事業としては、与野西中学校区内の「環境美化活動」があり、年二回土曜日に与野西中生徒と教職員約六百名、地域の方とPTA約二百名が清掃活動に当たっています。

また、この数年実施できませんでしたが、本町通りでの夏祭りの補導を行うとともに、九月から六回実施される巡回パトロールを自治会・PTA・教職員で実施しています。与野西中を起点として、十七時から与野本町小・鈴谷小・与野八幡小地区を巡回し、地域防犯の一助となっています。その他にも、小・中学校の諸行事や「土曜・放課後チャレンジスクール」への協力等、連携に努めています。

よのにし
与野西地区会

中央区

よのみなみ
与野南地区会

中央区

当地区会は、自治会、民生委員・児童委員、小・中学校四校の教職員及びPTA、関係機関と団体をもって組織し、青少年の心身の健やかな成長を図ることを目的として活動しております。

主な活動と致しましては、総会、年三回の常任理事会、子どもたちの下校時の安全確保を目的とした地域巡回パトロール、年一回与野南中学校で開催する子育て講演会、小学校三校で、毎年輪番で開催するお正月のつどい、そして一年間の活動をまとめた広報誌を発行しております。さらに今年、夏休み期間に大戸公民館で、三遊亭天どん師匠と埼玉大学落語研究会をお招きして「大戸寄席」を行い、地域の方々和落語を楽しむイベントを開催致しました。元氣いっぱい子どもたちの成長を地域全体で見守り、子どもと地域の未来のために、皆様と共に安心安全な地域を目指し、地域の交流が一層深まる努力を皆様の御協力を賜りながら続けてまいります。



「大戸寄席」

八王子中学校地区会

中央区



「星空観望会」
楽しそうに夜空を望む



「地域クリーン活動」
落ち葉やゴミを拾う生徒たち

当地区会では、『本会の目的達成のために、加盟団体間相互の連携を密にし、協力的体制の確立を図る』『青少年育成活動を積極的に進めるとともに、広く地域住民の理解と協力を得るための事業を行う』という二つの活動方針を掲げ、各役員の方々を中心に活動しています。

主な活動は、子どもの非行防止と地域の安全確認の為の地域内巡回パトロールを下校時と夜間に随時実施の他、体験活動として親子で学ぶ星空観望会・食を学ぶ朝まんじゅう昼うどん作り・地域での芋ほりなど、また八王子中学校との共催で非行防止や命の大切さを学ぶ講演会、生徒とともに行う八王子公園のクリーン活動等が実施されています。各事業の実施にあたっては連携・協力的体制が確立されている自治会やPTAの他に、地域の方々からの支援・協力もいただいております。

青少年育成さいたま市民会議設立二十周年を契機に、さらなる活動をしてまいります。



天文学講義



震災講話



キャリア教育

よのひがし 与野東地区会

中央区

十周年まで行ってきました地域への子どもたちの参加(夏祭りや清掃活動)に加え、出前授業にも力を入れてきました。

井原隆氏の天文学講義、照喜納弘志氏のキャリア教育、宮城県石巻市から講師を招いての東日本大震災についての講話など、各校先生の御指導と助言をいただきながら行っております。

今後とも地域の子どもたちの成長の助けとなる事業を増やしていけるよう努力してまいります。

おおくぼ 大久保地区会

桜区



スポーツレクリエーション



オセロ大会

当地区会は、昭和三十五年に「地域の子どもたちは地域で育てよう」をキャッチフレーズに発足しました。

それから、六十二年を迎えましたが、長きに渡り、関係諸団体並びに地域の皆様のご御理解、御支援を頂いておりますことに感謝申し上げます。

現在の主な活動は、巡回パトロールやスポーツレクリエーション・子ども公民館・オセロ大会など、地域の小学校三校をはじめ、中学生のボランティア参加や、PTA、自治会等の協力を頂きながら実施をしています。

また、小中学校関係者だけでなく、地域の公共施設や高校、大学、企業の皆様とも、定期的に意見交換を行いながら、大久保地区全体として子どもを見守る体制が構築されております。

これらは、本当に大きな強みであり、今後も継続しながら、これからの時代に沿った新たな行事等も積極的に取り入れ、より一層、充実した活動をして参ります。

子どもたちの健やかな成長と安全・安心のために!!

つちあい
土合地区会

桜区



1,000人規模の納涼大会



今年度の親子日帰り研修

昭和三十五年に発足し、当初は青少年の非行化防止を目的とした当地区会の活動も、時代を経て変化してきました。活動組織は、総務・家庭・広報・補導・事業の各委員会から、総務・広報・補導委員会へと統合されました。体験活動では、平成十一年には夏祭り前夜祭「子ども広場」や「夏休み納涼祭」が、平成二十六年には「親子日帰り野外研修」が始まり、さらに「親子わら細工講習会」や「親子星空教室」なども加わりました。これらの体験活動は、規模を拡大しながら継続して今日まで続いています。

子どもたちの健全育成は、日ごろの生活を通して育てられるものであり、自治会や地域に根ざした活動、なかでも地域の行事やお祭りなどは、そのよい機会となります。これからも学校・PTA・自治会や地域の方々と協力し、多くの人たちが築き上げてきた青少年への熱い思いをしっかりと受け止めて、伝統となりつつある活動を守り受け継いでいきます。

さわ
栄和地区会

桜区



「お楽しみ会」すいか割り



夜間パトロール

当地区会の発足は、昭和四十八年四月になります。今年で発足四十九年になります。活動区域は、栄和小学校区域内となり、この区域内で、「地域の子どものための健全育成は地域の手で」の合言葉のもと、地域青少年の非行および事故防止のための環境の浄化、街頭巡回活動等、体験活動事業を主に活動しております。

また、会員同士の親睦を深めること並びに学校・家庭・地域の方々の情報交換を目的に、合同研修会を行っています。その中で、子どもたちの遊び場・時間帯等での防犯箇所の確認や交差点・住宅街での危険箇所の確認、夏祭りや盆踊り等、子どもたちのイベントづくりに取組む自治会長との交流が大変有意義な情報となり活動に役立ちます。それと学校・PTA役員の方々と年三回行っている合同夜間パトロールも貴重な情報交換の場でもあります。今年度は、三年振りにお楽しみ会のすいか割りを行いました。多くの子どもたちが集まりたくさんの笑顔を見ることが出来ました。

これからも、子どもたちのために学校・家庭・地域の皆様と協力して活動を続けていきたいと思っております。

この活動を通じて、子どもたちと地域の方々の交流が深まり、地域をより安全で楽しい場所にするための活動が、子どもたちの成長を支えることにつながります。今後も、地域の方々と協力して活動を続けていきたいと思っております。

たじま
田島地区会

桜区



新春たこあげ大会

昭和五十二年、田島青少年育成会として発足し、平成十六年に現在の青少年育成田島地区会に名称を変更しました。発足から四十五年を迎えた当地区会ですが、田島小学校通学区内の子どもの健全な育成と、青少年さいたま市民会議の事業に参加協力することを目的としています。

具体的な活動としては、一月に開催する新春たこあげ大会、十月には子ども灯ろう祭り、十一月の田島小ふれあいフェスタ、その他巡回防犯パトロールなどがあります。中でも、新春たこあげ大会は、地区会発足以来続いている伝統行事でもあり、子どもたちがデザインした個性豊かで色鮮やかな手作りの凧が夜空に舞う様子はとても壮大です。また、大会終了後には、手作りのすいとんが参加者全員にふるまわれます。こうした活動を通じて、子どもたちと地域の方々の「ふれあい」を大切に、地域の皆様やPTAと協力をしながら、これからも子どもたちの成長を見守っていきたいと思っております。

し びらき 新開地区会

桜区



花火大会



郷土かるた大会

新開地区会は、活動地域を新開小学校のエリアとして、昭和五十四年（一九七九年）に発足してから四十四年目を迎えます。先代の役員を始め、各自治会・PTAの御協力により今まで継続していくことが出来ました。近年では児童の減少により、事業への参加者が少なく、また、地域の皆様への御協力を得るのが難しい状況ですが、なんとか子どもたちの育成に役立てられるよう活動をしています。コロナ禍の影響もあり、事業の実施を減らしていますが、歴史ある行事は何とか継続して実施しています。

大きな行事として、①学校の校庭をお借りしての花火大会（打ち上げ花火）は、二十二回目を、②彩の国二十一世紀郷土かるた大会は三十七回目を迎えました。

今後もより良い育成活動を行うべく地域の皆様からの御協力、そして連携していければと思います。

なかじま 中島地区会

桜区



「スポーツチャンバラ」練習も真剣そのもの 「凧つくり」完成後は元気に凧あげ



● 設立
昭和五十八年（一九八三年）五月

当地区会は、中島小学校開校の翌年に発足しました。PTAが発足するまでの十五年間、地域の皆様と共に、その活動の代行をおこないました。地域、学校関係者の方々の御理解と御協力のもと、今年四十周年を迎えることができました。

● 親子参加の主なる年間行事例
「子どもは地域の宝」という考えのもと、健全育成、情操教育に関わる企画をしています。

スポーツチャンバラ・料理教室・中島郷土カルタ・おしるこ会・体験活動・星空観察会など

◎二〇一四年、中島郷土カルタを製作。絵札書きなど、多数の児童が関わりました。

◎二〇一八年、星空観察会を開始。地域ボランティアさんや元校長先生の協力もあり、毎年大勢の親子の歓声が聞かれます。

◎今年度十月、新事業としてポッチャ体験会を開催します。

● その他の活動
地区内外の巡回活動・広報紙発行など
コロナ禍の方法を模索しながら、今後も充実した活動を目指して参ります。

きたうらわ 北浦和地区会

浦和区



ミニコンサート



映画鑑賞会

サッカー大会の麦茶作りから始まった当地区会の活動も六十二年たちましました。当時は子どもスポーツ大会、キャンプファイヤーなど行い、多数の児童・保護者で賑わいました。

その後、ブドウ狩りや梨狩り、消防署見学、また音楽を身近に触れ合う「ミニコンサート」「スイカ割りと花火大会」等時代によって活動も変わってきましたが、一貫して変わらない行事に夏休み巡回活動、毎月一回夜間補導、学校の行事参加です。いずれも多くの方、先生方、保護者の皆様、地域の方々の御協力によって行う事ができたと感謝しています。

最近ではコロナ禍により活動ができませんでしたが、今年度はミニコンサート・映画鑑賞会を開催することが出来ました。

今後、学校・保護者・地域の方々と連携し子どもたちの為に活動していきたいと考えております。

針ヶ谷小地区会

浦和区

当地区会は、昭和三十五年に設立されました。四つの部から成り立っていて、現在の主な事業・活動は次のとおりです。

①総務部

総会・理事会をはじめ、会主催事業の運営。市への各種申請業務他。

②広報部

☆育成会だより「すすかけ」発行。適宜各行事取材他。

③補導部

夏休み巡回活動。☆夜間非行防止パトロール活動他。

④家庭部

「ダブルダッチを楽しもう」☆「七夕飾りを作ろう」運営他。

⑤その他各部共通

「針ヶ谷ふれあい祭り」他。
☆はコロナ禍により休止中。

地域の力を結束し、子どもたちの笑顔に結びつく活動を心がけていきたいと思いません。



夏休み巡回活動



ふれあい祭り

仲本地区会

浦和区

なかもと

私たちの地区会は、学校・家庭・地域が一体となった組織で、自治会・PTA・民生委員児童委員・子ども会・スポーツ少年団の構成メンバーで活動を行っています。

主な事業活動として、児童の登下校時に交代で校門に立ち、防犯も兼ねながら、あいさつ運動を推進しています。

また、夏にはラジオ体操、秋にはグラウンドゴルフ大会、冬には三世代ふれあいひな祭り会、卒業する六年生を対象としたお別れスポーツ大会などがあります。

なかでも、一番の行事として秋に開催している「ふれあい交流会」は、仲本小学校の金管バンド、原山中学校の吹奏楽部、地域の有志の方による演奏やダンスなどがあり、会の最後には金管バンドと吹奏楽部の合奏などさまざまな発表を通して楽しみ、当地区会を知ってもらう交流の会となっています。



ふれあい交流会～ジョイフルコンサート～

今はコロナ禍のため、今までのような活動はできていませんが、やり方を改め子どもたちの成長のお手伝いできればと願うばかりです。

本太小地区会

浦和区

もとぶとしょう

「コロナを機に改革を」
当地区で一番大きな行事は子ども会対抗ドッジボール大会です。手伝いの大人を含む参加者は七百人近く、約三十チームが熱戦を繰り広げて盛り上がりがあります。一年生は大会で競技のルールを覚え、子ども会は次年に仕事内容を申し送り、継続することで毎年円滑な運営が行われてきました。しかしコロナ禍により、三年に亘って中止が続いています。

当地区会は令和二年に、会長始め本部役員が大幅に入れ替わりました。偶々感染拡大時期と重なってしまったため、新体制での行事はほとんど実施出来ていません。役員の交替と三年間の空白は大きく、今後は行事の実施に入念な準備と工夫が必要になりそうです。

これを機に、子どもや保護者の意見も取り入れながら、計画を見直しています。現代は委員も保護者も多忙で、地区会の担い手不足が深刻です。より参加しやすく有意義な活動になるよう改革していきたいと考えています。



お楽しみ映画会



委員研修会



秋の高砂まつりの時の「わなげ」



新年の浦和南公民館での「かるた会」

当地区会は昭和三十五年、「高砂青少年育成会」として設立され、後に「青少年育成浦和高砂地区会」と名称は変わりますが、高砂小学校・岸中学校、両校のPTA、さらに地域の諸団体とも連携をとりながら、子どもたちの安全と健全な成長のための様々な活動を続けています。

現在、非行防止巡回パトロール・夏休み巡回パトロール、優良図書贈呈、「三年後の自分への希望の手紙」事業、夏休みスポーツ教室・かるた会、「高砂まつり」への協力、十二日まち青少年育成巡回活動、広報紙の発行を活動の柱としながら、その年度状況に応じたイベント等を通して、子どもたちの成長を見守っております。

この地域は、調神社・旧中山道や浦和駅といった古くからの人文の集積の上に、浦和第一女子高等学校を擁した落ち着いた住宅地といった面と、再開発等による商業・公共施設や新しい集合住宅への人の流れなどの変化しつつある面とを併せ持っています。ここでは成長していく子どもたちには、そういった地域性を自らの糧として育ってほしいと願ってやみません。



観劇「オズの魔法使い」



下校時の見守り巡回

当地区会は、児童の健やかな成長を願い自治会、学校、保護者の御理解、御支援により地域の子どもたちを見守る活動を行っております。今迄の体験活動として、魚のつかみ取り、観劇鑑賞、キーホルダー作り、書初め練習会。また巡回活動として、夏休み、夜間、浦和祭り、十二日まち等で補導を実施しております。しかし、コロナ禍による諸活動の中止で、体験・感動・交流の機会を失いました。

この行動制限の環境の中でも子どもたちはタブレットを利用したオンライン授業と次世代への歩みを始めました。当地区会もこの情勢変化を活動の転換期と捉え、コロナ禍でも可能な活動として読書に親しむ「育成なかよし文庫」の創設補充、花いっぱい運動「なかよしの花」設置、「下校時の見守り巡回活動」を、あいさつ運動とあわせて実施することで子どもたちとの触れ合いの場としました。地域の皆様と体験・感動・交流の場が成長に結びつくことを願い活動を思考してまいります。



夏休み体験教室「サイエンス教室」

「親子花火大会」
ナイアガラ仕掛け花火

育成会の組織が地域と幅広い繋がりを持ちながら時代に即した年月を経過した今、発足当時を思い出します。子どもたちのため、子どもは宝、と当時の政府が組織してから六十二年が経ちました。

当地区会は昭和三十五年の発足当時から伝統と時代のニーズに即し、常盤小・常盤北小各学区自治会・子ども会・PTAが一体となり活動してきました。

地域の巡回活動は夏休み期間を中心に一年を通して活動しています。主なる事業は、公民館での「サイエンス教室」・恭慶館での「子ども茶道体験」・花火大会は、大勢の親子が、打ち上げ花火やナイアガラ仕掛け花火・手持ち花火を楽しみます。秋の子ども会対抗レクリエーション大会では、保護者達の熱い応援のなか熱戦が繰りひろげられます。

今後も関連団体と連携しつつ、子どもたちを見守りながら次世代に継承するように活動を続けてまいります。

かみ き ざき

上木崎地区会

浦和区

当地区会は今年度で発足六十二年を迎え、役員数百七名で活動しています。今年度、三年ぶりに行事を一部実施しました。

その一つ、クリーン運動は、文化の日に大原中学校と上木崎小学校の両校長先生に御参加いただき、大原中学校生七十余名を含む百八十五名で五組に分かれ、地区内の公道のゴミ拾いを行いました。二年間のブランクのため育成会の行事に初参加の親子も多く、区内をゆっくり見て歩くことで改めてこの地域の良さに気づきました、という感想もありました。

また、県民の日に七十五名で実施したふれあいウォーキングは、見沼区の南部浄化センターで生き物探しや顕微鏡体験等をさせていただき、秋本番の見沼田んぼをのんびり歩きました。両行事とも例年に比べ時間を短縮しましたが、内容はより濃いものになりました。

今後も子どもたちに仲間と過ごす楽しさを知ってもらい、安心安全な生活が送れるよう、地域の皆さんと共に活動してまいります。



「クリーン運動」
小さなごみも見逃しません！



「ふれあいウォーキング」
生き物探しの様子

き ざき

木崎地区会

浦和区

当地区会は、昭和三十五年十月七日発足以来『地域の子は地域の手で』との思いで活動を続けています。昭和六十一年から十三年間は木崎児童館運営も委託されていましたが、現在は「親子のふれあい」をテーマにした事業を企画し、運営委員会・広報委員会・補導委員会の各委員会で、木崎小学校・PTA・自治会の協力を頂いて活動しております。

●親子ふれあい年間行事

凧作り・凧上げ大会、見沼歩こう会、球技大会、夏休み工作教室

●広報紙『やまざくら』年一回発行

●地域巡回補導活動

毎月第二金曜日の夜間パトロール・夏季地域巡回補導を実施

●その他の活動 木崎小学校の社会人講師、「木崎っ子広場」木曜放課後教室・土曜チャレンジスクール等

今後も子どもたちの為に、地域の皆様の協力を頂きながら活動して参ります。



夏休み工作教室「スノードーム作成」
素敵なスノードームができたよ!!



「親子ふれあい凧作り講習会」
手作りの凧に絵を描いて空高くあげよう!!

きしちょうしやう

岸町小地区会

浦和区

当地区会は、昭和三十六年一月に発足以来、六十年余り、学校、地域と手を携えて活動を続けております。

体験活動として、「岸町小ふれあいフェスタ」で竹馬コーナーや、親の子ども時代の遊びをテーマに催事を、そして冬には、なわとび大会を開催しています。ほかにも、チャレンジスクールの協力などを行っています。

防犯活動では、夏休み巡回活動のほか、地域の皆さんに御協力いただいている「わんわんパトロール」を、近年犬を飼っていない方々にも御協力いただけるようグッズのリニューアルをいたしました。また、毎年十二月十二日に調神社で開催される十二日まちの各地区巡回活動の詰所担当を高砂小地区会と交互に務めています。

今後も、地域とともに子どもたちを見守り、子どもたちと一緒に楽しみながら活動していく地区会でありたいと考えています。



「岸町小フェスタ」初めての竹馬体験



「なわとび大会」学年別種目競技

当地区会は昭和四十五年に発足し、今年で五十二年目を迎えます。青少年の健全育成を目指し学校としっかり連携しながら活動を続けてきました。長い地区会の歩みの中でさまざまな活動を試みた結果、一年間の活動内容がほぼ定着し、毎年恒例の行事となりました。

まず七月は七夕まつり。ご近所の竹林(會長宅)から立派な竹を二本頂き校門の両脇に立てます。全児童の願いのこもった短冊と七夕飾りが今年も皆の心に残りました。八月の巡回パトロールを終えて十月は見沼を歩こう会。コロナ禍で三年間中止しましたが、再開した今年の参加者は児童と大人で百五十三名。学校から見沼氷川公園までの往復約二時間を全員完歩。充実した秋の一日となりました。十一月は大東っ子まつり。地域が一体となり盛り上がります。十二月は子どもに一番人気のクリスマス会。子どもたちの笑顔が溢れます。三月の遊び大会で一年の行事は終わります。今後も子どもたちの為に励みたいと思います。



「七夕まつり」
力を合わせて竹を立てました



「見沼を歩こう会」
疲れたけど楽しかったよ

だ 谷田地区会

南区

明治六年に誕生した谷田小学校は今年百五十周年を迎えます。当地区会は昭和三十五年に発足し、今年で六十二年目に入ります。

地区会活動も時の移り変わりとともに変化はありましたが、基本とするところは青少年の健全育成と非行防止です。

コロナ禍によって活動を縮小せざるを得ませんでしたが、例年実施していた「やだっ子広場」ではスーパボールすくいなどのゲームやペットボトルやりばし等を利用した工作などを実施していました。児童はもちろん、入学前の幼児も参加できる形式をとっていました。また、多くの保護者にも御協力をいただいています。

今年は形態を変えて十月に「フロアーカーリング大会」を開催する予定です。カーリング大会で使用する用具も当地区会で手作りしたものです。

谷田小学校、PTA・社会福祉協議会、民生委員・児童委員、地区の自治会などの御支援、御協力のもとでの地区会活動となっています。



わりばし鉄砲作り



フロアーカーリング

南区

南浦和地区会は、南浦和駅と武蔵浦和駅の間であり、根岸自治会、根岸三丁目自治会、白幡自治会の約六千世帯から成ります。

当地区会は、南浦和小学校を中心に戻っております。

私の祖父、父、子ども、孫で五世代が、南浦和小学校出身者です。

コロナ禍で節分祭、夏祭り、盆踊り、南小祭、県外研修が三年間中止となりました。楽しみにしている運動会、入学式、卒業式にも参加できません。

今できることは、子どもたちの通学時間に大きな声で挨拶をしあうだけです。その元気な声に、将来この地域を支える大人に、成長してくれるという希望が湧きます。一刻も早くコロナ禍が収束することを、願わずにはられません。



「南小祭」かき氷売り



「根岸地区夏祭」子供神輿

おおやばしろう
大谷場小地区会

南区

青少年育成さいたま市民会議設立二十周年を迎えられおめでとうございます。
前会長玉川正様の後を引き継ぎ今日に至ったところです。子どもたちの為に少しでも健全育成にと役員一同協力し、年間行事を進めて参りました。ですが今年度はコロナの関係で全ての行事が中止となり寂しい一年となりました。来年度は開催できまことを願います。

- 四月 鯉のぼり大会
 - 五月 総会
 - 六月 グリーンコンサート
 - 七・八月 夏休み巡回補導
 - 九月 球技大会
 - 十二月 凧作り
 - 一月 カルタ大会・凧揚げ大会
 - 三月 ひな祭り段飾り
- 今後も地区会として年間行事運営に努めて参りますので皆様方の尚一層の御協力をお願い申し上げます。



浦和競馬場でのたこあげ大会



ひなまつり人間びな

にしうらわ
西浦和地区会

南区

青少年育成西浦和地区会は、昭和四十年に西浦和小学校が開校し、昭和四十五年に地区内の自治会長が中心となり設立されました。当時から荒川土手で親子手作り凧揚げ大会、さいたま郷土かるた大会、校庭でのお餅つき等の親子で楽しめる行事を学校・PTAと地域の皆様と一緒に開催してまいりました。

主な年間行事としては、夏休み期間に西浦和小学校校庭でスタンプリー「夏休みお楽しみレクリエーション大会」、終了後はみんなでスイカを食べます。正月に羽根つきや豆つまみ、ゲート通し等の六種類のゲーム遊び、終了後は、豚汁を味わう「新春お楽しみ会」を企画・実施しています。
校区内巡回パトロールは、七・八月の夏休み期間は毎日、そして毎月第三金曜日は学校やPTAと協力して、午後五時半～六時半まで、地域の青パトロールカーと一緒に実施しております。未来を担う青少年の日々の安心・安全を見守り、「この地域に育つてよかった」と誇りが持てることを目指して、地区一丸となって活動してまいります。



チャレンジスクール



西浦和小学校
校区内パトロール

べっしよしょう
別所小地区会

南区

別所小地区会は、昭和三十五年以來、五十年を超える活動の中で、地域の未来のために児童の健やかな成長を見守って参りました。
残念ながらコロナ禍以前(令和元年以前)と同じような活動を展開するのは非常に厳しい状況が続いており、当地区会でも様々なイベント開催を中止せざるを得ませんでした。

ようやく規模を縮小した「ソフトバレーボール講習会」を開催することができたのは令和四年度二日間に分けての少人数開催のため、親子での触れ合いも増え、今まで以上に子どもたちが安心して楽しめる講習会になったと大好評でした。講師の先生、別所小学校の先生方、地域・保護者の皆様の御協力に感謝いたします。
現在、千人を超えるマンモス校となった別所小学校は登下校も危険がいっぱいです。当地区会では、児童の安全と地域の防犯のため、これからは毎月第三金曜日には校区内巡回パトロールを実施して参ります。



サーブだ！レシーブだ！



とっても楽しい時間でした♪

おおやばひがし
大谷場東地区会

南区

今年度の芸術鑑賞会は大谷場東小学校の開校六十周年のお祝いを兼ねて、武蔵野市にある劇団「影法師」による影絵を企画しました。この劇団は「感動の積み重ねが最高の栄養源」のもと、スクリーンの持つ平面性を打破するべく、自由な発想のもと、想像力によるダイナミックな舞台を展開しています。

影絵の日は人数制限があり、十一月十二日が高学年で「西遊記」、十一月十九日が低学年で「ゲゲゲの鬼太郎」を鑑賞しました。両日ともに良い天候に恵まれ素晴らしいかったです。普通の影絵だと白黒ですが、全編を通して、きれいなカラー画面とダイナミックな音楽による演出で、参加している生徒から歓声が上がリ、十分に皆様の感動が会場全体に伝わりました。

影絵が終わった後に、特別にスクリーンの裏側を全員で見ることが出来ました。人形の細かく、リアルで、繊細な表情にとっても感動しました。



影法師による影絵



芸術鑑賞会

つじ
辻地区会

南区

当地区会は、辻小、辻南小、南浦和中、内谷中、市立浦和南高校と地区内に五つの学校があり、連携して活動を続けてきました。子どもたちが安全に生活できるように第三金曜日巡回や夏休み巡回などの補導活動のほか、夏休みおもしろサマースクールや豆まき大会など、実際の体験を通じて世代間交流や伝統行事の継承を守って行く事に積極的に取り組んでいます。特に五校が協力して開催するふれあいコンサートでの、合同演奏は圧倒的迫力で一年を締めくくる大事な行事となっています。

残念ながらこの二十周年記念のタイムイングでは世界的に流行した新型コロナウイルス感染症により大人数で集まることが抑制され行事の開催の在り方も試行錯誤をしているところがあります。しかしどのような時代でも子どもたちを地域で育み伝統を伝えていくことに断絶があつてはいけなさと地域と学校がより連携できるよう取り組みを進めているところです。



豆まき大会の様子



「ふれあいコンサート」
合同演奏の様子

ぬまかげしゅう
沼影小地区会

南区

当地区会は、昭和四十八年設立以来「地域の子どもは、地域で育てる」を合言葉に学校、家庭、自治会の皆様と共に事業を進めて参りました。ちびっ子すもう大会・子どもたちの音楽会など地域の皆様に日頃の子どもたちの様子を披露し喜ばれています。

また『元気な子ども達のあいさつが飛び交う、明るい街にしよう』というあいさつ運動が、五年前急逝された故宮田会長が発起人となり、地域諸団体の協力のもと横断幕(看板)を沼影小学校、内谷中学校、曲本保育園通りに設置しました。通勤通学行き交う人々に「おはよう・こんにちは！」と笑顔で表現しています。宮田会長は、子どもたちや地域に対する思いが誰よりも熱く五年たった今でも「しっかりとやってるか」と感じています。



あいさつ運動

この学区内では、数年後に小中一貫校としての計画が進められています。私共地区会としてこれまで通り子どもたちを地域の一員として見守って参りたいと思えます。

おおやぐち
大谷口地区会

南区

●夏休みの巡回活動
大谷口地区会の主な活動を紹介します。

活動前に参加者全員を対象に説明会を行い、巡回内容や安全に行う上での注意点を伝えていきます。巡回協力者は当地区会（役員・自治会長・育成委員・子ども会）、小中学校教職員・PTAの皆さまです。今年の参加延べ人数は百八十八名でした。二十年以上続いている活動です。お陰で夏休みに大きな事件・事故がなく安全に過ごすことができています。

●夏休みラジオ体操

地区内の子ども会が中心となり、夏休みに校庭や公園で行っています。毎年多くの子どもたちが参加しています。生活リズムの大切さを伝えていく活動です。コロナ禍で活動が制限されている中、子どもたちの日々の見守りや貴重な経験ができる活動を行うために地域の方と共に頑張っていきたいと思っています。



ゴミを拾いながらの巡回活動



ラジオ体操の様子

ぶそう
文蔵地区会

南区

文蔵小学校は、さいたま市の最南端に位置しており環境のいいところであります。昨年度十一月には開校五十周年を迎え、度重なるコロナ感染防止対策のため、緊急事態宣言や、まん延防止措置対策が発出される状況下でありましたが、記念事業や式典が市長様・教育長様をはじめ、多くの御来賓の御臨席をいただき、厳粛の中執り行われました。

因みに、当地区会も開校と同時に五十周年を迎えましたが、文蔵小学校は開校以来、一地区一学区という希に見る恵まれた環境下にあります。

当時の地区会活動のキャッチフレーズは「地域の子どもたちは地域で守り育てよう」でありまして、今もなお、この合言葉は連綿と継承されておりあります。

今年度地区会名入りのベストを新調しました



地域防犯巡回パトロール風景



殊に、登下校時の見守り活動は勿論、年間を通じて実施している地域内の巡回活動は、地区会補導委員会や自治会交通防犯部をはじめ、関係団体多数の方々の協力をいただき、子どもたちや地域住民の安全確保のため、万全を期して地域ぐるみで実施しております。

うらわ おおさとしやう
浦和大里小地区会

南区

萩原章弘会長が常に提唱する「本物」と接し「感動を得よう」。

この事を念頭に三年ぶりに開催した本年度の「育成会まつり」は晴天の下、元浦和レッズ選手でOB会長の都築龍太氏、指導者として加藤順大氏、斎藤豪人氏、永田充氏の元選手をお招きし、サッカーを通じたスポーツ大会を企画しました。百二十名を超える児童が午前午後に分かれて、誰もが憧れたスターから身近に学べたことは、生涯の宝物になったと思います。この事を貴重な経験として、世界に大きく羽ばたいて欲しいと願っています。これは「地域の願い」でもあります。過去には東京大学の奇術同好会を招き、華麗なマジックショーを披露して頂きました。

私たちが暮らす地域は、児童生徒の激増を解消するために、令和十年開校予定の武蔵浦和学園構想の計画が進められています。五年生から大里校舎から離れ新校舎で切磋琢磨することになります。武蔵浦和駅

第30回記念育成会まつり
サッカースポーツ大会



周辺の再開発、マンションや戸建て住宅の建設が進み、水田は皆無となりました。昔ながらの風景は一変しましたが、今後も「人付き合い」を大切に、「豊かな教育環境づくり」に取り組んで行きたいと思っています。

ぜんまえ 善前地区会

南区



もちつき大会

当地区会は、善前小学校が開校した次の年の一九八一年に設立されました。主な活動は、もちつき大会や地区内巡回活動を行っております。

もちつき大会は子どもたちの恒例行事となっていて思い出に残る活動を行っています。数年前までは、広い校庭を利用してキャンプファイヤーを行っていましたが、残念ながら安全面を考慮して現在は中止し新たな行事を検討中です。併せて地区会のあり方についても見直しているところです。設立当初から続く保護者を中心とした単年度での活動を、地域全体で継続した活動ができる組織に変えていくなど育成会長を中心に地域の皆さまと協力しながら改革を進めております。

まだまだ十分な活動ができていない地区会ですが、素晴らしい活動ができるよう試行錯誤を重ねながら日々頑張っています

みむろ 三室地区会

緑区



野外映画会

当地区会は「地域の子どものは地域の大人が健全に育成しよう」という理念のもと、昭和五十四年に「賛助会員制度」を立ち上げ、市の補助金等で運営しています。

【主な事業活動】

- ①「野外映画会」 夏休みの最初の土曜日、三室小学校校庭で日没後上映開始、千人近くが参加。星空の下での映画鑑賞は夏休みの楽しい思い出となっています。
- ②「グリーン活動」 地域の清掃活動を目的とし、小・中学生、保護者、先生、地域の方々が朝の一時間ゴミ拾いを行っています。
- ③「みむろっ子まつり」 芝原小学校の校庭で臼を使って餅をつき、子どもは餅つき体験に感動し、初めての子どもも戸惑いながら楽しんでいきます。その間、羽根つき、ベーゴマ、けん玉などの昔遊びで過ごします。ボランティアを含め約千人の参加者もちきあげたお餅をいただきます。
- ④「ウォークラリー」

当地区内の名勝旧跡、公園をゲームやクイズで親子・友達と散策しながら楽しみます。

その他、広報紙を全家庭に配布しています。

おまぎ 尾間木地区会

緑区



小中学校演奏会



カルタ会

当地区会は、東浦和中、尾間木中、尾間木小、中尾小、大牧小、向小の六校の子どもたちを対象に様々な活動を行っています。

主な活動は、夏季に、東浦和図書館のご協力のもと行う「緑陰読書会」。十一月の「育成会まつり」では尾間木小学校校庭で、ドッジボールや昔遊び、工作などを企画。十二月には各校の金管バンドと吹奏楽部の合同演奏を地域の方々披露する「小中学校演奏会」を開催。一月に、子ども会に協力を頂いて「カルタ会」を行っています。

その他に、毎月第三金曜日には、各学校と合同でパトロールを実施、年に二回の広報紙発行もしています。

コロナ禍となり昨年まではパトロールと広報紙発行のみの活動でしたが、今年は第三十回の小中学校演奏会をプラザイーストにてこれまでとは形式を変えて行います。

次年度以降の本格的な活動再開への第一歩となることと思います。

はらやま

原山地区会

緑区



夏休み体験活動「ラジオ体操」

当地区会は原山小学校学区内の六つの自治会、PTA等の各種関係団体や活動目的に賛同する個人が協力し、活動を行っています。昭和三十五年に当地区会が発足。五十年以上にわたり地域で活動を継続してきました。

現在は四十名の会員が所属、五つの委員会を組織し事業、運営を行っています。

補導委員会では、地域や子どもたちの放課後の安全を見守る防犯パトロール等、地域の安全活動に取り組んでいます。夏休みの巡回活動は会全体で協力して行っています。

事業委員会で企画、運営するラジオ体操は、毎年八月一日から三日まで小学校校庭で行っています。小さな子どもから地域の大人まで多くの方が楽しみにして参加してくれています。秋には校庭でゲームや昔遊び体験「みんなであそぼう」、今年初めて防災や福祉の体験をメインにした「つくてあそぼう」を企画。子どもたちのために、今私たちができることはなにかを常に考えて活動しています。

だいちもん

大門地区会

緑区



「むかし遊び」
みんな一生懸命頑張りました



「お楽しみクリスマス会」
樹高7メートルのツリー



「日光御成道チャレンジ強歩」
岩槻城址まで約14kmを歩きぬくぞ!

当地区会は、大門小学校区内の青少年の健全育成を図ることを目的に、昭和四十三年に発足しました。年間四回の行事、夏休みや大門神社祭礼時の巡回補導をはじめ、スポーツ少年団(サッカー、ミニバス、野球)の支援などを行っています。

残念ながら昨今のコロナ禍のため、大人数の行事の開催が難しく、行事内容の見直しを迫られるなか、学校、PTAとも議論を尽くし何とか子どもたちの期待に応えてまいりました。

当地区は、人口の急増に伴う環境の急激な変化のなか、子どもたちが事故や犯罪に巻き込まれないよう、学校や家庭、地域との連携を密にしながら活動し、子育てに優しい環境づくりと青少年の健全育成に向けて、引きつづき取り組んでまいります。

道祖土地区会

緑区



七夕かざり



夏休みラジオ体操

◆設立 昭和五十四年六月に創設されました。本格活動は、昭和六十三年二月に「東部地区研修会」を担当してからです。

◆組織 道祖土小学校通学区内の自治会を中心に、小学校と中学校のPTA、スポーツ少年団などで構成されています。

◆活動

- ① 「三世代ふれあい広場と七夕かざり」
例年は校庭や体育館で昔遊びなどを地域の皆様や中学生ボランティアと一緒にします。今年は教室で上級生と下級生が協力して紙の風車を作りました。クラスごとに七夕飾りもしました。
- ② 「夏休み巡回活動」地域の皆様と無理のない巡回をいたしました。
- ③ 「夏休みラジオ体操」晴天に恵まれた二日間で、たくさん参加してくれました。
- ④ 「どれみふあさいどコンサート」三年ぶりに十二月に開催予定です。
- ⑤ 「のびのびさいど」一月発行の広報誌です。

みその 美園地区会

緑区

美園地区会は平成二十四年二月十五日に発足、十年目で有ります。美園小学校(千四十二人)美園北小学校(千四十四人)、美園中学校、美園南中学校、を活動エリアとして活動しております。

新しい地域にて学区内の自治会、民生委員、PTA、そして学校地域コーディネーターとの連携を大事にしながら、事業に取り組んでおります。事業として①夏休みみラジオ体操(最近ファミリィで実施)、②PTA主催の美園フェスタ、③野外映画会、④クリスマスコンサート、に取り組んでおります。役員も毎年自治会から一人以上の協力を頂きながら、地域密着の「美園コミュニティ」づくりにも貢献しております。



映画会 (2022.10.25 美園北小学校アリーナ)

いわつき 岩槻地区会

岩槻区

●子どもたちとさらに一緒に活動を
当地区会もコロナ禍のため約二年半の間従来からの子どもたちが一緒に活動はあまりできませんでした。しかし、コロナ感染対策を取りながら、昨年度は「映画会&工作教室」を、今年度十月には岩槻の地場産業の一つでもある「組紐」作りを新たに始めました。

● 広報活動も充実

当地区会の広報紙「きずな」の紙面刷新と、配布先の拡大、発行回数年二回化を図り、当地区会活動をより多くの皆様にご提供いただくよう広報活動にも力を入れていきます。



「組紐」作り

- 紙面刷新: 「学校訪問コーナー」を設け、毎号ごとに地区内の小中学校を順番に訪問取材、学校関係の記事を掲載しています。
- 配布先と発行回数: 従来は年一回の発行(地区会関係者への配布と自治会経由の回覧)でしたが、令和三年度の年二回発行化とともに小中学校を通じて当地区内の全小中学生のご家庭にも配布、より多くの子どもたち・父兄にも当会の活動に関心を持ってもらうよう努めております。

かしわざき 柏崎地区会

岩槻区

二十周年を記念(当地区会は、十周年)して当地区会の最近の活動状況を記します。
三年前迄は、学校・PTA・自治会や地域の団体等と緊密に連携を図り、独自の行事を拡大中に、新型コロナウイルス感染が拡大し大半の行事を中止せざるを得なくなり残念でした。令和四年度はコロナ禍に適應した行事内容に変更し進めております。

● 令和四年度当地区会が主体の行事予定

- 十月「親子芋ほり大会(岩槻地区会共同)(十五日四小学校の生徒保護者約四百二十名参加)
- 一月「三世代ふれあい餅つき大会」協賛

● その他(岩槻区青少年育成会・地域団体)



「芋ほり畑で熱心に親子で芋ほり中!! (R4.10.15)

- 岩槻まつりのパトロール。やまぶき祭りの広報活動。岩槻地区親子ふれあい餅つき大会。
- 地域内朝夕防犯パトロール(PTA・自治会)
- 三世代参加の「昔のあそび会」の復活準備

子どもの成長は一年待ってくれませんが、子どもの将来を考え空白を作らない活動に更に変化させ、また地域の皆さんに青少年育成会の理念をより広く認知と協力頂く為の広報活動も強化し推進します。

わど 和土地区会

岩槻区

六年生卒業記念品贈呈・おもほり

コロナ禍、当地区会は令和二・三年と六年生を送る会等、対面の活動がなかなかできませんでしたが、令和四年度に六年生へ卒業記念品が贈呈される際、和土小学校の教頭先生のご配慮で、地区会長・副会長・事務局が学校に伺い、ビデオメッセージで生徒さんへお祝いの言葉をお伝えすることができました。生徒さんからも「ありがとうございます」「ありがとうございます」の言葉をいただき、大変嬉しく思いました。

また、今年のいもほり大会は、児童を募集し、感染対策を講じて実施することができました。児童・保護者など総勢百名以上の参加者となり、盛会に終了しました。「ふかしいも」も提供し、青空の下おいしくいただくことができました。



ビデオメッセージ



いもほり大会

にい 新和地区会

岩槻区

当地区会の活動地域は、新和小学校区です。役員構成は、社会福祉協議会役員・新和小と城南中各校長先生・PTA役員・役員経験者スポーツ少年団監督などです。

活動は野外活動とコンサートで社協との共催である点が、特色と言えます。野外活動は新和小の児童を対象としたバス県外研修です。毎年、参加者を抽選で選ぶ盛況のイベントでしたが、二年間は休止しました。

昨年度は、バルーンリリースを新和小学校公開日に併せて行いました。密を避けマスク姿でもわかる沢山の笑顔を見る事が出来ました。またコンサートはクリスマスライブです。二台のキーボードによる楽しいライブが開催できました。どちらも自治会回覧などで地域の方々にも広く告知しています。



クリスマスコンサート



バルーンリリース

本年度は、十一月夕方にキャンプファイヤーまた十二月にクリスマスライブを予定しています。当地区会もコロナ禍で役員会を中止し書面報告のみです。対面での会議開催を願っています。

かわど 川通地区会

岩槻区

当地区会は、平成二十四年度に従来の城址地区会が川通地区会と東岩槻地区会に分離し、「学校・家庭・地域が連携し、心身ともに健全な青少年の育成」を目的として発足しました。

主な事業としては、第一に、小学生を対象に県内外の工場や施設を訪問し、見学や体験を通して団体行動の大切さを学ぶとともに、見聞を広めることを目的とした「ふれあい学習」を実施しています。

次に、小・中学生とその保護者や先生方、また地域の方々を対象として、良き思い出づくりと多世代交流の場の設定を目的とする「ふれあい餅つき会」を実施しています。

現在は、新型コロナウイルスウィルス感染拡大防止対策が優先されるため、通常の事業推進が難しい状況ですが、今後も子どもたちの健全な成長に繋がる事業推進の更なる充実を図っていききたいと思っております。



ふれあい餅つき大会



ふれあい学習（県外での体験学習）

慈恩寺地区会

岩槻区

「子どもの笑顔に守られて」

当地区会は、二校の小学生と共に歩んで参りました。市への合併と共に平成十七年より、最初は北部地区会で、次に現在の慈恩寺地区会へ移行しました。活動の一環として、登山やハイキング等の自然と触れ合った体験、バスで県外へ出て防災エリア・リニアモーターカー乗車・水の科学館・博物館・美術館・菓子作りの見学など、この十八年間のさまざまな思い出が甦ってきました。子どもたちと共有できたこの時間は、今後の学習に役立っております。

地元では、馬鈴薯やさつまいも掘り、そしてメインの餅つき大会も盛況に実施して参りました。コロナ禍になり活動が困難な年には標語を募集して「あいさつ運動」の立看板を設置する事が出来ました。現在は、規模を縮小して、学校側ともよく相談をしながら、少しずつ活動しています。子どもたちの笑顔が支えであり、大きな原動力となっております。



筑波山の山登り



餅つき大会

河合地区会

岩槻区

当地区会では、設立された当初、工作教室などを実施していましたが、参加者が少ないのが悩みでした。

対策として、平成二十六年度から、社会福祉協議会(会員がほぼ同じ)が夏休みに主催している「親子ふれあい会」の縁日体験で、「じゃがバター」を担当し、共催しました。

また、二十七年度からは、「餅つき大会」を開催するようになり、多くの児童に参加していただけるようになりましたが、このコロナ禍においては、どちらも中止となり、実施出来ていません。

その中で、昨年度は、鬼とともにコロナ退散と、豆まき用の福豆を用意しました。今年度は昔遊びや、新しい企画で何か出来ないかと計画中です。

これからも、地域の方々と連携し、協力し合い、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。



縁日コーナーのじゃがバターおいしいよ



何が好きかな? きな粉餅が一番人気

東岩槻地区会

岩槻区

当地区会は、平成二十四年六月に、東岩槻小学校区と上里小学校区に設立され、「伸びよう伸ばそう青少年」をスローガンに掲げ、様々なイベントを実施してきました。主な活動は、次の通りです。

- ・東岩槻フェスティバル：地域の皆様と子どもたちとの交流も兼ねた餅つきと、ついた餅の販売
- ・ふれあいグラウンドゴルフ：東岩槻小、上里小の子どもたちと地域の高齢者との、グラウンドゴルフを通じての交流
- ・ふれあい研修：育成会役員とPTA役員の付き添いのもと大型バス二台で、子どもたちが楽しんで学べる県内外の場所への訪問

現在、令和二年よりの新型コロナウィルスの影響で各種イベントが実施できない状況が続いていますが、今年度は復活するものもあり、徐々に明るい兆しが見えてきています。今後も地域の子どもたちの健全な育成の一助となる活動を続けていきたいと思っております。



狙え! ホールインワン!



ふれあい研修で鉄道博物館へ

さいたま市PTA協議会



役員セミナー



教育委員会との懇話会

さいたま市PTA協議会は、各区それぞれの取り組みや課題を共有し、教育委員会をはじめ校長会の校長先生方、関係機関ともしっかり連携を図りながら、さいたま市の宝である子どもたちの健やかな成長のために活動を進めております。

さいたま市PTA協議会は、さいたま市立・国立の小・中・特別支援学校百六十五校(令和四年十月現在)のPTAで構成されており、令和四年度に創立二十一周年を迎えました。歴史を辿りますと、平成十三年五月一日の「さいたま市誕生」に合わせて、旧三市(浦和市、大宮市、与野市)の三ブロック制からスタートしました。平成十五年五月の政令指定都市への移行に伴い、区ごとの九連合会制に再編され、その後、平成十七年六月に岩槻市の合併により現在の十区連合会制となりました。それぞれの地域性を重視した区ごとの連合会制により、さらに地域と密着をした活動をおこなうことができ、子どもたちをとりまく様々な環境の変化にも迅速に対応できるようになっています。

さいたま市よい本を読む運動推進委員会



緑陰読書会

子どもたちが本を楽しみ、本に喜びを見出し、心豊かに成長するようお願い、研鑽に努めてまいります。

当会は、成人向け雑誌等が子ども目の付く所に氾濫していた昭和四十二年、良書の普及と共に読書環境の充実を図り、青少年の健全育成に寄与することを目的に設立されました。発足と同時に始まった店頭調査は四十五年間継続、各店舗では、成人向け雑誌は次第に成人コーナーを設けたり、紐で結んだり、更には令和元年、コンビニが販売中止へ。当会は現在、主に読書活動推進の一助にと積極的に読み聞かせ活動に力を入れています。「子どもたちに素晴らしい本との出会いを！」をスローガンに「緑陰読書会」を開催。図書館・学校のご協力を得て読み聞かせ・本の貸し出しを行っています。また、学校だけでなく各方面からの依頼もいただいております。

大宮警察署少年非行防止ボランティア連絡会



夜の少年補導活動「早めに帰るようにね」



違反広告物の撤去作業も活動の一環です

私たち「大宮警察署少年非行防止ボランティア連絡会」は、県の公安委員会から委嘱された「少年指導委員」として、不良行為(飲酒・喫煙・不健全性の行為等)をしている少年、および被害を受けている少年の補導活動をするボランティア団体です。「少年指導委員」は、全国に約六千四百名が在籍し、埼玉県に約五百四十名、さいたま市では百十二名が活動しています。その中で、私たちは定員二十九名で、埼玉県最大の歓楽街を抱える大宮駅周辺を中心に、街頭のパトロール、およびゲームセンター内・カラオケの個室等を巡回して少年の補導活動を行っています。未来を担う青少年の健全育成は非常に重要な事業で、様々な活動が行われていますが、私たちは、少年が一人でも非行への道に行かないように、また被害を受けている少年が一人でも減ることを願いながら、少年補導活動を続けています。

さいたま大宮地区保護司会

「保護司は、更生保護を支える民間ボランティアです。」

保護司は、社会奉仕の精神をもって、犯罪や非行のある少年の改善更生を助けるボランティアです。

その主な職務は、保護観察を受けている人と面接を行い指導・助言をすることと、自宅に少年等を招いて面接することにより家庭的な雰囲気や安心感を与えることにより立ち直りの手助けをしています。

また、刑務所や少年院に入っている人の帰住先の生活環境を調整すること、犯罪を予防するため世論の啓発活動に努め、それをもって地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉に寄与することを使命としており、保護司は、①社会的信望②熱意と時間的余裕③生活の安定④健康で活動力を有する等の条件をすべて備えていることが必要です。法務大臣から委嘱され、身分は非常勤で、一般職の国家公務員とされており、給与は支給されません。



さいたま浦和地区更生保護女性会

六十余年の歴史を持つ我が更生保護女性会ですが、立派な先輩達と明るい現会員の努力と活動のお陰で今日に至っております。この時期コロナ禍の為、活動を休止しておりますが、浦和別所小チャレンジスクールでのフラワーアレンジメント教室或いは、お茶会での子どもたちの輝く瞳と現代的アイデア・感性には私達が教えられている気が致します。

また上木崎小の「けやき祭り」では、バドミントン・飛行機飛ばし・昔懐かしいお手玉・おはじき・こま回し等々で明るく敏捷な子どもたちのパワーに圧倒されつつ年齢を忘れて参加させていただきました。両行事ともに本当に楽しい珠玉の時間を



折り紙に挑戦！
バラはなかなか難しい



みんなでつくって飾りましょう！

共有することができました！まだまだ核家族の中の祖母世代の私達にも、世の中に役に立つことがあり、必要とされてお手伝い出来ることを嬉しく実感させていただきました。

未来にはばたく大切な一人ひとりの子どもたちの将来が平和で明るく心身共に豊かで、生き易い世の中である事を真摯に祈らずには居られません。一方で今後とも少しでも子どもたちとの仲良い交流とお役に立てる事を希望しております。

さいたま中央地区更生保護女性会

更生保護施設清心寮での月一回の「絵手紙をかく会」を、二十三年間続けてきました。毎回会員の家の季節の花や野菜果物など身近な物を下描きなしで描きます。そして話しかけるような一言をぶっつけ本番で添えて完成です。その後は皆でお茶を飲みながら互いに感想を話して楽しい時間を過ごします。

国立児童自立支援施設武蔵野学院には運動会や園遊会への参加やクリスマスマスをプレゼントして喜ばれています。

また中央区内の小中学校には毎年本の寄付をさせていただいています。小学校では絵手紙教室と一緒にクリスマスサンタさんやお正月の干支を描きました。矯正施設の見学研修を毎年実施してきましたが、コロナの為に三年間中止でした。またコロナ後は今まで以上に、地域に根ざした活動をしていきます。



上落合小学校で賑やかに絵手紙教室



「国立武蔵野学院」へ
クリスマスリースをプレゼント



- 参加者(敬称略)
平成二十四年度 受賞者
- 石井 雅人 (青年部代表)
- 村山 いであ
- 平成二十六年年度 受賞者
- 大竹 岳
- 加藤 遼
- 窪田 悠
- 地区会長
● 蝦名 るみ子

善行青少年表彰 受賞者インタビュー

令和4年9月12日、平成24・26年度年度青少年育成さいたま市民会議善行青少年表彰の受賞者であり、現在は植竹地区会青年部として活動している皆さま及び地区会長にオンラインインタビューを実施しました。

事務局 地区会の活動に参加したきっかけを教えてください。

石井 植竹地区会が主催する「植竹GOGOキャンプ」(以下「キャンプ」)がきっかけです。地区内の学校で配布されているチラシを見て参加した人が多くいます。今の中心メンバーは小学生の頃にキャンプに参加し、高校生以降も運営側となっても続けてきた人たちです。

事務局 キャンプの概要について教えてください。

石井 対象は小学三年生〜中学三年生です。学校・年齢・性別などが違う子どもたちが、親元を離れて過ごすことが大きな目的です。一泊二日の間、群馬県や山梨県などのキャンプ場で、料理を作ったりバンガローで寝泊まりしたりしま

す。コロナ禍となってからは開催できていません。

蝦名 子どもたちが日常を離れて自然の中で自分を解放できることが魅力です。その中で魅力を感じてきた子どもたちがこのように残ってくれたと感じています。

事務局 平成二十四年度・二十六年年度の善行青少年表彰受賞は、キャンプなどの活動を継続してきたことが評価されたものです。これまでに活動を続けられた理由を教えてください。

村山 参加してきた色々な活動が楽しかったからに尽きると思います。楽しくて続けていたらいっぱい間にか表彰を受賞していたので不思議な気持ちです。

蝦名 高校生・大学生になってからもキャンプにボランティアとして



手作りカレー、おいしい!



キャンプファイヤーで大盛り上がり

ちが小中学生の頃にキャンプなどの活動に参加していた経験などは強みだと思っています。

これからも地区会の活動が長く続いてほしいので、子どもたちと一緒に自分たちも成長していきたいと考えています。

事務局 青年部の活動に対するコロナ禍の影響や今後の展望を教えてください。

加藤 ここしばらくはメンバーとの意見交換や子どもと会う機会としての集まる場がなく、参加できる活動がありませんでした。

石井 今年度も夏のキャンプは中止となりましたが、2月の「植竹地区子ども音楽祭」は開催に向けて動いています。

また、コロナ禍でもできる取り組みとして、昨年度から「お子さま川柳」を始めました。小学校にプリントを配布し、川柳を募集しています。自治会長などが投票して表彰したり、作品集を作成したりしています。

現在、大人になって植竹地区を離れるなど、青年部の実働メンバーが少なくなっているのが不安です。

事務局 ここまで青年部としての活動を中心にお伺いしましたが、小中学生の頃に参加した活動の思い

出や、その経験から今に通じることなどを教えてください。

大竹 孺恋村でのキャンプが一番の思い出です。夜にキャベツ畑の中で星を見て、石井くんが星座の説明をしてくれたことが印象に残っています。

窪田 小学生の頃にキャンプに参加することで、初めて上級生と交流できました。私は中学から東京に通学してしまったので、地元の上級生とつながりができた貴重な経験でした。

石井 小学生の頃にキャンプに参加した時に「野菜を切るのは女の子」「火をおこすのは男の子」といった指示があり、不思議に思った記憶があります。自分が運営側になった今は、男女や年齢関係なく声をかけるよう心がけています。



キャンプの下見で日光へ

加藤 小学校三年生で初めてキャンプに参加して、料理、火起こし、荷物整理などすべて自分でやるという経験は成長できるいい機会になりました。

村山 中禅寺湖の畔のキャンプ場で大量のトンボを捕まえてパンガローに持ち込んだことを覚えています。

蝦名 これまでキャンプを三十八回開催してきました。今日参加している加藤さんのお兄さんも青年部として活動しています。活動の中で出会った女性と結婚し、子どもが生まれました。その子どもも参加できる年齢になるまでキャンプを続けていきたいと考えています。

事務局 最後に、次の世代や本記事の読者に伝えたいことなどがあれば教えてください。

石井 青年部に興味を持ってもらい、一緒に活動してくれる人が増えてくれると嬉しいです。そのためにも青年部の活動を続け、色々な人を知ってもらうことが大切です。

蝦名 青年部のメンバーが学生から社会人となり、地元で活動することが難しくなってきました。地区会活動や青年部の在り方を検討していかなければならないと考えています。

窪田 メインの活動はキャンプで子どもたちを支援することです。その他には「植竹地区子ども音楽祭」の運営、地域の清掃活動に参加、自然のものを活かした作品作りなどを行っています。

石井 例えばキャンプ場に向かうバスで子どもたちの相手をしたり、キャンプファイヤーの準備や片付けをしたりするなど、若いメンバーだからこそできることや得意なことを行っています。年齢ゆえに感性が近いことや、過去に自分た



▲記念式典

▼会長・副会長・常任理事集合写真



本会設立二十周年を記念した式典を開催し、地区会、関係諸機関・団体へ感謝状及び記念品が贈呈されました。

六月四日 記念式典・総会

令和四年度活動方針のもと、設立二十周年を記念した事業を実施しました。令和二年から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業を縮小・中止しました

令和四年度活動方針

― 伸びよう 伸ばそう 青少年 ―

- 1 青少年の社会参加活動の推進を図る。
- 2 青少年健全育成のための環境浄化活動の推進を図る。
- 3 青少年健全育成・いじめ撲滅について市民啓発活動の推進を図る。
- 4 各地区独自の事業を充実させる。

七月十四日 青少年健全育成研修会

さいたま市よい本を読む運動推進員会高橋清子氏、大宮警察署少年非行防止ボランティア連絡会西田三平氏、久世晴雅青少年育成さいたま市民会議会長により、「活動報告」青少年健全育成のための私たちの取組」が行われました。

▼活動報告



十二月四日 青少年の主張大会

応募総数七百四十八点の中から、第一次審査で選考された十二名がスピーチ発表しました。



▲スピーチ発表

▼発表者集合写真



二月二十五日 青少年育成推進大会

三年ぶりに会場で表彰式を実施します。

令和4年度 広報委員会



広報担当常任理事	委員長	副委員長	委員
蝦名 るみ子 鶴谷 千法 萩原 章弘	宮島 和宣	石島 通也 佐藤 千代子	矢那瀬 春代 鈴木 健司 長坂 兼一 波多野 裕 山田 秀子 大木 昌美 深野 亜弥子 田村 洋子 藤岡 美津枝 前田 三恵子 荒船 有紀 高橋 綾子 阿久津 多美子 関根 大輔 山本 万里子 渡邊 綾子 宇山 裕美
北区 見沼区 南区	宮原地区会	植水地区会 新和地区会	指扇地区会 大砂土地区会 大宮東地区会 氷川地区会 七里地区会 片柳地区会 与野南地区会 八王子中学校地区会 栄和地区会 新開地区会 大東地区会 本太地区会 大谷場小地区会 辻地区会 三室地区会 美園地区会 岩槻地区会

編集後記

このたび、青少年育成さいたま市民会議設立二十周年記念誌を皆様のお手元にお届けすることができました。ひとえに、日頃より青少年の健全育成に御尽力いただいております。会員及び関係者の皆様の御支援・御協力の賜物であります。

二十年の活動を振り返りますと、本会は先達の方々が創り上げてきたものの上に成立していることを実感します。社会情勢が大きく変化する時代ではありますが、この青少年健全育成の灯を後世に伝えていく所存です。

本誌の発刊にあたり、玉稿を賜りました各地区会及び関係機関・諸団体の皆様、原稿の作成にあたりお力添えいただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。読者の皆様におかれましては、今後の活動の参考としていただければ幸いです。

青少年育成さいたま市民会議がこれからはますます発展することを祈念し、編集後記といたします。

はばたき

青少年育成さいたま市民会議二十年のあゆみ

発行日 令和五年三月三十一日

編集・発行 青少年育成さいたま市民会議

伸びよう 伸ばそう 青少年

青少年育成さいたま市民会議 いじめ防止のための五ヶ条

- 地域の子どもたちが心身ともに健全に過ごせる環境づくりを目指します
- 地域であいさつの輪を広げ、子どもたちに進んで声をかけます
- 地域住民同士がつながりを深める行事や活動を通して、子どもたちの社会性をはぐくみます
- いじめは絶対に許されないという意識をもち、地域全体の目で子どもたちを温かく見守ります
- 子どもたちの健全育成に向けた啓発活動を積極的に行い、地域で子どもたちを守ります



さいたま市PRキャラクター
つなが竜ヌウ



